

研究課題名：	公立昭和病院看護師満足度調査の結果から看護職員定着にむけた人材確保の課題検討
所属（診療科等）：	公立昭和病院（看護部）
研究責任者（職名）：	山本 由美（看護部長）
試料・情報の提供責任者： 試料・情報の管理責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
研究期間：	2024年6月1日～毎年1回実施
研究目的と意義：	<p>【目的】 看護職員満足度調査から看護職員定着にむけた人材確保の課題を明らかにする。</p> <p>厚労省および日本看護協会は、2023年に看護職員の人材確保を促進するため人材確保対策事業について指針を30年ぶりに改定し、看護師等の確保にむけては中長期的視点での取り組みの重要性を示した。当院看護部は、長く安心して働ける看護職場を目指し、2022年度から心理的安全性の確保・ヘルシーワークプレイスの実現へ取り組みを開始した。また看護職員の看護の資質向上を目的とし特定行為研修開始やオンライン学習システムの変更など個々のキャリア形成支援も強化した。一方離職率は、2020年のCOVID-19感染症流行期の5%を境に2023年度7.4%へ上昇している。昨年度までの離職する看護職員の半数以上は卒後3～5年であり、当院の目指す長く働く職場への課題を見いだす必要性を感じた。本年から当院は定年延長が開始され、今後60代のプラチナ世代が増加するなど看護職員の働き方が多様化している。当院は20代から60代の幅広い世代が在籍できる魅力ある職場、遣り甲斐ある看護という強みがなければ、若い世代の定着率は維持できず人材確保が困難を極める。そこで看護師ひとり一人が自律した看護専門職として長く働き続ける魅力ある職場づくりを強化するため、今後5年間を通じて看護職員の満足度調査を実施し、看護師定着にむけた人材確保の課題を明らかにすることで、各年代がバランス良く配置できる中長期的な人材確保対策および看護職員離職防止に活かせると期待する。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん なし 対象は看護職員（常勤・非常勤看護職員（看護助手を除く）572名のみ ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 ●提供する試料・情報の取得方法 ●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） ●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名） 公立昭和病院
研究内容： 問い合わせ先：	<p>【研究担当者】（研究全般に関すること） 氏名：山本 由美（看護部） 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>